一般社団法人 SHIPひきこもりと共生社会を考えるネットワーク主催

「SHIP! SPACE」講座

当事者・家族と、ともに考える、学び合う、対話する、実践する、一歩を応援

ハイブリッド講座 第9回（全12回シリーズ）

お金のこと、家族と話すには

「いつか話さなきゃ」を、今日から始めるヒントに。

親の高齢化に伴い避けて通れない「お金」の話。「きょうだいに迷惑はかけられない」と抱え込む親、「元気なうちに情報を共有してほしい」と願う兄弟姉妹、「自分の将来が不安」と言葉を飲み込む当事者――。立場は違っても、それぞれの思いや葛藤があるからこそ切り出せず、話し合いや共有が先送りされがちです。

しかし、準備がないまま親に万が一のことが起きれば、家族全員が困る事態になりかねません。まずは「どこに何があるか」を知ること、そして、日常生活への影響を考え、働くことが難しい場合の公的な給付金でもある「障害年金」などの公的制度を知ることも、安心への第一歩です。

本講座では、自身もひきこもり経験のある社会保険労務士・岩﨑裕司さんをお迎えし、親・きょうだい・本人の3つの視点から、無理なくお金のことを話し合うためのヒントを一緒に考えてみませんか。

ゲストスピーカー



岩﨑 裕司（いわさき ゆうじ） 社会保険労務士

東京都出身。劇団青年団で9年間俳優および演出部として活動し、さらに自身の演劇ユニット「boku-makuhari」で劇作家・演出家としても活躍。7年間のひきこもりを経験した後、37歳で再起し、社労士試験に合格。2022年に「社労士 Officeボクマクハリ」を開設し、障害年金やひきこもり支援を中心に活動している。http://www.boku-makuhari-link.jp/

経験者の立場



古口 晃（こぐち あきら） KHJとちぎベリー会理事

不登校を1年弱、ひきこもりを7年ほど経験。現在、30代のひきこもり経験者として、4年ほど家族会の居場所カフェ「苺屋」利用者兼スタッフとして活動、親子関係が良好になるにつれ、日常的に家族とお金の話ができるようになり、現在は得意のITを生かして財産管理も行っている。

きょうだいの立場



間野 成（まの せい） デザイナー

1967年新潟県生まれ。1991年3月、武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。弟の大学在学中に兄がひきこもりはじめ、約32年続く。原因は父にあると思い、父と弟の間で長年不毛な戦いが続くが、2016年11月に奇跡的に和解。同時に兄のことも恥だと思わなくなり、周囲の人たちに兄のことを話せるようになる。兄は今、地元で元気に暮らしている。（一社）OSDよりそいネットワーク所属。

親の立場



森 あき子（もり あきこ） KHJとちぎベリー会代表 居場所カフェ「苺屋」運営

自身の子どものひきこもり経験をきっかけに同会と繋がり、「親が元気になれば、子も自然と明るくなる」をモットーに、家族が安心して頼り合える場づくりや親のサポートに力を入れている。お金の話は、買物などを通じてすることがあるものの、将来の生活費の話は家族会でも重要なテーマである。

コーディネーター 上田理香（うえだ りか）　コメンテーター 池上正樹（いけがみまさき）

12月15日（火） 18：00 〜 20：30

本講座はリアル会場とオンラインのハイブリッド開催です（会場は「イケビズ」。詳細は裏面）
アーカイブ配信有 1月12日（火）から配信

受講費

ひきこもり・生きづらさ当事者、経験者
1回1,500円（税込1,650円）

支援者・家族・一般
1回3,500円（税込3,850円）

SHIP! SPACE講座は、随時アーカイブ受付中！
フリーパス割引・団体割引あります。詳細は裏面をご覧ください。

リアル会場＝イケビズ としま産業振興プラザ 4階
地域活動交流センター 東京都豊島区西池袋2-37-4
※リアル会場はいつもと異なりますのでご注意ください

【お問い合わせ】
一般社団法人SHIPひきこもりと共生社会を考えるネットワーク
https://shiphiki.jp/category/shipspace/shipspace-2026/
SHIP! ひきこもり

お申込、詳細はコチラ ▶

見えなかったもの、見過ごされていた課題に光を当て、
生きやすい今とこれからを当事者視点で考えていく

SHIP! SPACE講座（2026年度）

今苦しむあなた、家族、支援者、かかわるみなさんに知ってほしいこと、一緒に考え、実践していきたいこと。

制度の狭間を当事者視点から考える
～「生きる」と「暮らし」と「尊厳」をテーマに～

全12回

毎月第3火曜日　18時00分～20時30分
オンラインもしくはハイブリッド（アーカイブ有。オンライン開催のみの場合もあります）
※6月のみ月2回　※6月25日のみ木曜開催　※タイトルは変更になる場合があります
リアル会場＝イケビズ としま産業振興プラザ 4階 地域活動交流センター
東京都豊島区西池袋2-37-4　※リアル会場はいつもと異なりますのでご注意ください

第1回 5/19（火）
いじめ後遺症を生きる
講師＝
イナ「いじめ後遺症ドットコム」主宰
瀬尾りお「いじめからの逃げ方」著者
参考図書：SHIP! 第4号
アーカイブ受付中

第2回 6/16（火）
ひきこもりと働く
本人と社会と働くの間にあるギャップ
働きたいか、働くとはなんなのか？
講師＝当事者、家族、ピアサポーター
協力：KHJ全国ひきこもり家族会連合会
参考図書：SHIP! 第5号
アーカイブ受付中

第3回 6/25（木）
身寄り無し問題と8050問題
住まい、医療、身元保証
家族がいてもいなくても
情報が助けになる
講師＝
滝野隆浩 毎日新聞客員編集委員
藤井奈緒（一社）親なきあと相談室 関西ネットワーク代表理事
アーカイブ受付中

第4回 7/21（火）
自分の経験、生きづらさを言葉にして伝えてみる
講師＝
滝野隆浩 毎日新聞客員編集委員
終了

第5回 8/18（火）
学校の『当たり前』を問い直す
不登校・ひきこもり・多様な困難の中にいる子どもたちの未来を拓くために
講師＝
西村祐二 岐阜県立高等学校教諭
内田良 名古屋大学大学院教授
アーカイブ受付中

第6回 9/15（火）
住まいと命と人権と
引き出し・押し出し・説得
講師＝当事者、
日本羅針盤法律事務所、
中井町議会議員、養育里親
アーカイブ受付中

第7回 10/20（火）
自宅に居たままで生活の質を上げる
～ケアの訪問化へ
医療、内科・歯科等の往診、
訪問美容、訪問マッサージ等の
在宅生活を支える
（KHJ実態調査から）
アーカイブ受付中

第8回 11/17（火）
感覚過敏の人が感じている世界 生きづらさを知る
講師＝当事者、家族、有識者
参考図書：SHIP! 第4号

第9回 12/15（火）
お金のこと 家族と話すには
きょうだいと家族の葛藤
講師＝兄弟姉妹、家族、有識者
参考図書：SHIP!第4号 /たびだち108号

第10回 1/19（火）
生活保護とひきこもり
一歩を踏み出す当事者たちの声から
講師＝当事者、家族、
ケースワーカー、有識者
参考図書：SHIP! 第7号

第11回 2/16（火）
8050問題
介護と暮らしと発達特性
～片付けられなくても
買い物できなくても
講師＝地域包括支援センター
成年後見センター、当事者、家族
参考図書：SHIP! 第7号

第12回 3/16（火）
自分に合った居場所（人）を探して
～自宅も居場所
講師＝当事者、家族、
地域の居場所コンシェルジュ
（昼スナック、お寺、メタバース、
書店、カウチサーフィン etc.）
参考図書：SHIP!第8号 /たびだち106号

受講費　オンラインもしくはハイブリッド（アーカイブ有）

当事者・経験者＝1回1,500円（税込1,650円）　※第4回のみ2,000円（税込2,200円）

支援者・家族・一般＝1回 3,500円（税込3,850円）

SHIP!会員フリーパス（全11回・参加可能　第4回はワークのため含まれません）
（定期購読・ネットワーク会員）当事者8,000円（税込8,800円）　それ以外の方28,000円（税込30,800円）
※会員以外の方・ニュース会員の方は別料金となります。お問い合わせください。

団体割引＝アーカイブ視聴5名様分のお申込で何名でも無料（1回につき）